

平成28年度 自己評価書

平成28年度 自己評価書

学校名	北海道標津高等学校	校長名	中 西 勝 範	実施日	平成29年3月24日
-----	-----------	-----	---------	-----	------------

1 学校教育目標

社会の有為な形成者としての資質を養うため

- 1 自らを啓発し、目的に向かってやり遂げる生徒の育成
- 2 人を敬愛し、豊かな心を持つ生徒の育成
- 3 心身ともに健康で、正しく判断し行動できる生徒の育成

2 本年度の重点目標

- (1) 学ぶ喜びを実感させ、学ぶ意欲を喚起する。
- (2) 自らを律し他者を思いやる心と行動力を育てる。
- (3) 一人一人の将来の夢や志、目標の実現を支援する。
- (4) 自他の生命を大切にし、自ら心身を鍛える態度を育てる。

2 自己評価結果

	評価項目	自己評価の結果
教育課程 学習指導	・授業評価アンケートで「この授業は」や「標高学びのサブリ」に関する項目で肯定の回答80%以上を達成できたか。 ・授業評価アンケートの「この授業の規律は守られているか」の項目を追加し、肯定の80%以上を達成できたか。 ・行事の企画・運営や会議資料の作成については、各分掌・学年との連携を早期に進めることができたか。 ・保護者のPTAへの参加を促進することができたか。「高校だより道標」や「ひろば」・「ほっとニュース」での情報発信ができたか。 ・教育課程は、本校の将来像や生徒の実態に十分配慮した工夫・改善がなされたか。 ・校務支援システムのマニュアルを作成し、運営が円滑に処理されたか。 ・備品簿等の活用により学校内の備品の管理が徹底されたか。	○ 全ての項目において概ね達成できたと考える。しかし、『教育課程は、本校の将来像や生徒の実態に十分配慮した工夫・改善がなされたか』の項目においては達成状況『C』となっているので、今後も引き続き、次期学習指導要領を視野に入れ、教育課程の見直しを図る。
改善方策	・学習のねらいを確認しながら生徒と教師が学び合う授業づくりをさらに進める。 ・校内研修を充実させ、授業規律のさらなる向上を図る。	
生徒指導	・自分の時間を自分で管理できる生徒を育てたか。 ・気づきの心を持ち、謙虚な生徒を育成できたか。 ・良い挨拶ができ、仲間や学校に誇りを持つ生徒を育成できたか。 ・豊かな心を育むとともに、基礎的な体力が向上したか。 ・教員間の共通理解に基づき、「一致した指導」を徹底できたか。	○ 評価項目のア、イ、ウについて達成状況『C』となっている。全校集会やホームルームでの指導を徹底するとともに、挨拶について生徒会を中心とした活動の活性化を図る。
改善方策	・時間の自己管理ができる生徒を育てるため、スケジュール管理などの指導を行う。 ・全学年共通の課題について定期的に情報を共有する。 ・日常生活における挨拶及び礼法指導を徹底する。	

	評価項目	自己評価の結果
進路指導	・ 生徒の進路目標を実現させるための計画的な取組ができたか。 ・ 生徒が自ら社会に貢献しようとする人材になるよう働きかけができたか。 ・ 教職員が共通理解のもと、系統的な指導ができるよう促せたか。 ・ 生徒が自ら進路を選択することができるような行事の内容・時期は適切であったか。 ・ 保護者との連携の下、進路指導を円滑に進めることができたか。 ・ 外部機関との連携を十分に図り、生徒に還元することができたか。	○ 全ての項目において概ね達成できた考える。しかし、評価項目のウについて達成状況『C』となった。学年・分掌とのミーティングを定期的に行い、連携の強化を図り、教職員が共通理解の下、系統的な指導を行う。
改善方策	・ 進路指導部通信の定期的な発行 ・ 計画的な進学講習の実施及び模試の実施 ・ 各種進路行事を含むガイダンスの充実 ・ 各学年と分掌の連携強化のための定期的なミーティングの実施	
公表方法	・ 本校のWebページへの掲載	